

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 交通代金付旅行支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内3075)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 18,100 千円 (現計予算額： 20,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	18,100	0	0	0	0	0	0	0	18,100
決定額	18,100	18,100	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、外国人観光客は減少し、国内観光客も外出を自粛するなど、県内の観光事業者はこれまで経験したことのない非常に厳しい状況にあり、県内観光事業者の回復に向けた需要喚起は喫緊の課題である。

さらに、原油価格や物価の高騰により、特に交通事業者の経営がひっ迫されており、旅行商品の造成・販売等が限定的な状況である。

(一社)岐阜県観光連盟と連携して、交通事業者の商品造成、販売促進等を支援し、本県への誘客を図る。

(2) 事業内容

・県内バス事業者への商品造成等への支援(18,100千円)

県内バス事業者が企画する交通代金付商品の造成や、同事業者を活用した旅行商品の販売促進等の取組みについて、原油価格・物価高騰対策として拡充

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	18,100	バス事業者旅行商品等助成
合計	18,100	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

R2年度 国GoToトラベル事業を実施。各県上乘せ補助等を実施。

R3年度 地域観光事業支援(国補助)を実施。

R4年度 地域観光事業支援の延長及びGoToトラベル事業実施予定。

(3) 後年度の財政負担

閑散期における緊急的なコロナ対策であることから、後年度の財政負担はない。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	交通代金付旅行支援事業費補助金
補助事業者(団体)	(一社) 岐阜県観光連盟 (理由) 県内最大の民間観光団体であり、県と連携し、観光産業の発展に努めている。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県観光連盟と連携して、交通事業者の商品造成、販売促進等を支援し、本県への誘客を図る。 (内容) 県内バス事業者が企画する交通代金付商品の造成や、同事業者を活用した旅行商品の販売促進等の取組みについて、原油価格・物価高騰対策として拡充
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例: 人件費相当額) (内容) 定率 10/10 (理由) 県の国内誘客事業と連携する事業
補助効果	岐阜県観光消費額の増大
終期の設定	終期 4 年度 (理由) コロナ禍での緊急的な支援事業

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の速やかな回復を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額	2,933億円 (R1)	1,785億円 (R2)			3,300億円 (R7)	54.1%
②観光入込客数 (実数)	4,800万人 (R1)	3,451万人 (R2)			4,900万人 (R7)	70.4%

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	原油価格や物価の高騰により、特に交通事業者の経営がひっ迫されており、旅行商品の造成・販売等が限定的な状況である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	原油価格・物価高騰対策として、事業者を支援するとともに県内への誘客促進を図ることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	効率的に事業を実施できるスキームとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、外国人観光客は減少し、国内観光客も外出を自粛するなど、県内の観光事業者は非常に厳しい状況にあり、県内観光事業者の回復に向けた需要喚起は喫緊の課題である。 	
--	--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内観光事業者の回復に向け誘客促進を図る。 	
--	--